

關西大學 學生新聞

編輯 竹下文雄
印刷 關西大學新聞部
發行 關西大學新聞部
地址 大阪市東區川島

皇道宣揚會主催

初の學外講演大會

盛會を極む

時局に處す

外に、ソ連國境に於ける一觸即發の抗日戦線あり、内に、維持と打破との相対による思想混亂、物價騰貴に基く經濟界の不調、將又、人口、食糧、軍備の諸問題が絡み合ひ、今や日本は、内外に非常時の眞只中にある。然るに、熱し易く冷め易き國民は、非常時の聲に麻痺し、徒に情眼を寫つてゐるが如くである。此の秋、大阪三百萬市民の獨善的な迷妄を打破し、以て非常時皇國の現狀に處すべく、恰好の講演會が、七月二日、本學皇道宣揚會主催の下に信濃橋國島會館に於て開催された。

定期より半時間餘遅れ、漸く七時過ぎ、司會者中村君の開會の辭に依つて開始された。先づ彼は國内内情の現勢を前向きして「關西生を以て組織せる我が皇道宣揚會は、國家非常時の實情を見る時、見るに忍びず、茲に敢然立つて、今晩の講演會を開催するに到つたのである」と關西生の眞實なるところを披露して壇を下り、續いて河村教授は、皇道宣揚會の第二期條を引用して、この講演會開催の主旨、並に皇道宣揚會の三つの事業を説明して挨拶を終る。

かくして、東亞研究に造詣深き本學教授大山彦一氏の「大陸政策と南洋論」と題する講演に移つた。日本には「二つの政策」外に「南洋進出、大陸」内に「社會政策」があり、その指導原理が皇道であることは勿論であるが、この政策を述べる前に日本を理解する必要がある、それは世界を理解し、世界の向つてゐる動向を見る必要がある。

各種民地を奪はれ、その後目撃めた日本に殘された殖民地は、僅か支那大陸と南洋である。と言葉巧みに述べた「外に對する政策」に援用し、かくて維新後の日本に於ける滿洲國の富國強兵主義（マイカーテリズム）板垣退助の自由主義（ルソー型）大戦以後のマルキシズムなどの變遷乃至は大戦後、日本は右せんか左せんかの大變遷の危機に直面してゐるが、滿洲國を以て解消したること、同時にこの事業が日本に人口問題、資源問題の鍵を握つて呉れたこと等を説明し、事實滿洲國は日本が創つたのであり而かも諸外國からそれ思はれてゐるのであるから、遠慮なしに滿洲國を育て上げるべきだ。日本は心臓を強く持つて飽くまで滿洲國を指導しなければならぬ。

殊更に「心臓強く」を強調し、から、滿洲國の王道を論じ、次の「南洋論」に入る。昨年氏が觀察して來た見聞に基いて南洋の經濟的、軍事的價值を紹介し、「南洋」にも美しき女があるから、淋しがらずに安心して移民せよ」と聽衆を笑はす、神の前の審判は戦ひである。國境は人間のつくつたものである。

就任の辭

河村 宜介

今回不肖は武田前主事の後任として本學專門部主事の重任を拜命致しました事は洵に光榮とするところであり、固より淺學非才にして免く其職責を果し得るや自ら省みて誠に慚死たるものがあります。然し一旦御引受け致した以上、上座までも微力を盡し、本學專門部の向上発展に努力する決心である次第であります。

今五十有餘年の光輝ある歴史を有し、既に實質剛健の學風、強多の爲の材を社會に送り我國に於る私學の最高權威として君臨して來たのは周知の事實であります。而して本學の今日あるは實に幾多先輩諸師の眞實なる研鑽と刻苦經營の結果に外ならないのであります。然し願つて本學專門部の現狀をみますると其施設に於て内容に於て未だ決して理想的に充實準備し

その實戰であつた。熱と意氣あつた。語り澤山な形容詞も面白く、講にこつり込まれにやつた。

日露戦役を體驗したものは漸次死んでゆき、私も老境に入つてゐるから、何時死ぬか分らぬそれで今晩の私の講演は遺言の積りで聽いて貰ひたい。



【寫眞説明】
講演會壇上に於ける大山彦一教授(上)と石川喜代己大佐(下)

説部 「風紀肅正隊」

先般本學の風紀を根本的に刷新する目的の下に、全學への服裝に關する禁止事項を掲げて、風紀肅正隊なる團體が出現した。近時「學生の一般の風紀紊亂」の極に達し學生の本分に悖りたる行爲をなすもの、の妙なからず、心ある人を驚感嘆せしめてゐる事は、敢て隊員諸君の指摘に待つまでもなく、我々と言へども此れを認めるに聊かの躊躇をも感ずるものではない。

因されてゐるものではなく、より深き所に根ざす、より困難なる問題である。もし眞に風紀を肅正せんとするならば、斯くの如き表面的な、むしろ枝葉の問題を云々する前に、其の上つて來る根本原因を正し此れを別決する手段を探らねばならぬ。斯くする事によつてこそ、色ズボンや混合靴も自づから形をひそめ風紀肅正も可能であると爲す得る。

かくして、話は現代の極東の情勢に一足跳び飛んで、滿洲國を語り榮華分のない日本は滿洲からどん／＼吸つる以外にない。かくてこそ、幹は太り、枝を南洋方面に延ばすことも出来るのだ。然し乍ら、滿洲國を取巻く形勢は日滿にとつて極めて不利である。従つて軍備充實と共に、滿洲國を育てるためには、腰掛け移民が必要だ。

と結び、最後に大山君の閉會の辭があり、一同萬歳三唱して本日の講演會を盛會裡に終つた。時に十時過ぎ。

第一 學友會委員
法一、西島三郎、上田 忠男
經一、石角 逸次、堀川 盛也
商一、伊藤 淳、赤木 啓英
田中 正己、秋元東洋男

大學祭打合せの 二部合同協議會

「連絡機關」常置問題 その俎上にのぼる

六月廿一日夜、本部三階會議室に於て三部の各首脳部が集り、大學祭に關する打合せの合同協議會を行つた。當日の決議項目は次の如くである。

一、一部の試験期繰上げを條件に、大學祭は十月十七日に行ふこと

二、十月十六日の學術講演會は中ノ島中央公會堂に於て行ひ、本年は殊に聴衆獲得に留意すること

三、十月十五日のラヂオ放送は學長の講演の外に、學生の音楽放送を加へるべく交渉すること

四、物價騰貴のため例年の豫算では到底不可能であり、且つ本年は備物をより廉價ならしめるため豫算を擴大すること

五、従来軽く扱はれてゐた三部對抗リレー（優勝旗授與）を本年は互に力を入れること

六、その外の具體案は次回協議會に提出して議決すること

存在理由を失つた 就職委員會

速かに解散すべし

就職委員會は結成以來、その目的貫徹に向つて善處すべく、度々會合して協議をなし、學校當局との懇談會の開催、その他種々實策の講究の爲め、結果として、就職の促進に多大の功績を挙げた。然るに、就職委員會の存在理由を失つた。速かに解散すべし。

就職委員會は結成以來、その目的貫徹に向つて善處すべく、度々會合して協議をなし、學校當局との懇談會の開催、その他種々實策の講究の爲め、結果として、就職の促進に多大の功績を挙げた。然るに、就職委員會の存在理由を失つた。速かに解散すべし。

聞新生學

唱提の盟聯西關

スポーツの分野に於ては既に夫々關西學生聯盟なるものの結成が見られ、斯界のために大いに貢献しつゝあることは周知の事實であるが、文化的なものもこの分野に全然その種のものがないことは遺憾である。これも東都に比して關西が文化的に不利な環境におかれてゐるためであるが、しかし、そのうちにある種々の活動として文化的活動の振興に盡力するが目下關西各大學に於ける文化團體の隆盛の急務である。

三年前、關西學生新聞の編輯を結成すべく、關西大學の「學生新聞部」に於てのみその研究がなされるに過ぎない現状である。學生新聞と云へども大學令によるものと専門學校令によるものと二種あるが、その特殊性を考慮に入れて、各大學の新聞部が提携するならば、必ずより完成に近い新聞の研究がなされ、相互に啓蒙されて、延いては各大學に於ける文化運動にも貢献するところがある。

横であり、就職委員會としてこれ以上善處する餘地なく、今や全くその存在理由を失つて仕舞つたのである。

而かも、若し就職委員會が存続するとすれば、就職委員會を踏襲して就職せんとする老練なる徒輩か、學生界の手先小使に甘んずるお人よしかの何れか、その解散を拒むるのである。前者が論ずるに足らぬ人物であることは今更言を要しないが、後者は學生界に事務員を増加すれば即決し得るものであり、殊に卒業期を控へて多忙な學生に難役に甘んじてゐるのには寧ろ不可解である。之を要す

るに、吾人は速かに學生界に事務員を増加せしめ、就職委員會は解散せよ。

大協 座談會

「新劇」を語る

新劇研究會

新劇研究會の土によつて組織された「新劇研究會」は、大阪協同團五月公演を観劇し、次いで、去る六月九日同團員を招き、カスビル學士會館に於て座談會を開催した。

先づ森宗君立つて「我々は新劇に對して何等の知識をも持つてゐませんので、新劇とは何ぞやの質問から始めて戴きたいと思ひます」とと挨拶を述べ、こぼれる笑ひの意気は、現實との取組みを強ひるものであるが、題目「新劇」に對して、一連の質問「一、學藝」にあるが如き文句は、學園の何處からも取り出されず、それ程、その象牙の塔にさへ、よそ行きの面と本質との齟齬、矛盾がある。況んや、出席とれば授業に出、とらばサボる「一、取組」。「一、不満足」と「アベック用の服」を使ひ別ける教派學生など、職業教育するも無理からぬこと。然し、これらの矛盾が大である。これは、理想と實際は一致せずと云ふ逃げ文句も復たせず、そこに生ずる疑念は、益々人心を動かし、やがて、革命的燈が燃え上る。かくて、若し圓ある全體的發展を望むならば、未然にその種の齟齬にあるやを突き止める。根本的切手術を執行して整理することが、何より肝要である。奥の奥に蓋し、又は高飛車式で手放し、一時の間にこそあれ、キヤップ、矛盾を除去し得るものでなく、却つて「一、暗雲低迷の風」を呼ぶ。他方「新聞に書くから面會せぬ」と云つたり、或は偉い者顔して、のつり返つたりすることは、反響を買ふだけ、學生社會には通用しない。少くとも、學園に關係する限り學生の除外は出来る筈もなく、從つて、相互の齟齬なき接觸面を持つことが望ましい。そのことに依つて相互の立場を明にすれば、馬鹿な誤解も起らねば、無理な注文も出さずに済む。と云ふ、從來の如き口先で神化することは奇すがよい。▲化粧面に纏はれるのは風情あつて、いゝが、三百代當の口車に乗る事は何より難いものである。

森宗、萩原、宇都宮、宇治原、矢野、小林、矢部、富永、藤井

「商品」
と「國內」
用がある
如く、同じ
一人の女に
も素顔と化
粧面との違

退任の辭

不肖は去る昭和四年六月三日、本校卒業と同時に専門部主事の職に就き、爾來今日まで八年間只専門部の向上發達を念じて及ばずながら微力を竭して参りました。本學が近日學校當局不斷の御努力と教職員及び學生各位の一致御協力によりまして、校運は益々隆盛に、向は洋々たる前途に向つて躍進しつゝあることは誠に御同慶に存する次第であります。

本學は昨年舉行せられた創立五十周年式典を契機として、時期的發展の機運に際し、前途に邁進する所實に大なるものがあります。從つて専門部主事の職責も更に一層重大なることを痛感するのであります。然るに私は御承知の如く、昨今は仕車の關係上非常に多忙な身となつて、延びては健康上にも如何かと思ふ點も多々ありますので、從つてより辭任の希望を有し先般、保前學長を経て理事會へ辭意を申出で置きましたところ、此度昭和十一年度の慶多の慶多も滞りなく相済みましたので、ここに退任することに成つた次第で御座います。

願ひますれば専門部主事として在職八年間御力のいたすところ何等の貢献もなし得ず、ここに退任致しますことは實に汗顔の至りにて誠に自責の念に堪へないものがあります。然しながら幸に學生諸士の理解ある御協力と御同情によりまして在任中大過なく今回無事退任することを得ましたことは私の最も欣幸とするところで衷心から感謝措く能はざる所であります。

本學は學運に學運兼備の神戸博士を學長に迎へ、而して神戸學長は専門部長を御兼任なされ、且つ又今回適任たる河村教授が専門部主事に御任せらるゝことに相成りましたので、専門部の爲めに心から慶祝すると共に専門部將來の隆昌發展を期し且つ之を願望して止まない次第であります。終りに私の在任中學生諸士の偉大な御恩恵を深く感謝すると共に、深甚なる敬意を表し、各位の御健康と御進歩とを専門部の前途を祝福して退任の辭と致します。

昭和十二年六月十一日
右 武田 謙之助



「科學追記」
「如來の家」を觀劇した

關西新聞記者
大瀧雄夫、木村武、多田俊平、谷晃、海老江寬、木下ゆづ子、新劇研究會側

休暇中の讀物

大阪碩大 助教授 五島 茂著 四六判上製 定價一〇〇

學術論文の書き方

學術論文の書き方にはコツがある、誰も其コツを知りたがつてゐるが、教授も先難も取へて之を洩らさうとしない、本書はそのコツを眞髓より説明し、高専大學の學生に一般研究者の眞の要望に應へたもので、即ち文章表現の基礎研究から學術論文の製作方法を詳述したもので、研究論文執筆に際して正に必備不可缺の指針書である。

神戸碩大 助教授 新庄 博著 四六判 定價一〇〇

金融理論の新傾向

最近の金融理論に關する諸學説を究明し且つ牛明に叙述せんと共に、従來と異つた所學に於ける新傾向の現はれを抽出し、既述の金融理論を一應得せる人々に對してよりよく裨益し、又、漠然たる疑問を抱ける人々に對しては、上手の指針書である。

大阪碩大 助教授 堀 經夫著 四六判 定價一〇〇

經濟學の根本問題

經濟學論中の最難關は、價值理論及び價格理論である、從來これに關しては、労働價值説と限界效用説とが行はれ、又これ兩説を折衷せんとするものもあつた。併し、未だ其の孰れも、合理的に成功したとはいへない。現狀にある。かゝる時に際して、本書は經濟學の本質を究明し、労働價值説と限界效用説とを、各經濟學派の折衷論を超越し、労働價值説と労働價值説とが夫々如何に安んじ、如何に修補せざるべきかを、明瞭なる論理を以て推究してゐる。

東京碩大 助教授 中山伊知郎著 四六判 定價一〇〇

厚生經濟學

近代資本主義の最も重要な特色は、その發展における不調和の方面から取扱ふことと目的とする。所得或は國民分配の分配に於て、被取扱ふことと目的とする。所得或は國民分配の分配の最大多數を占める個人である。故に厚生經濟學とは社會が一般社會の幸福増進の條件を論ずることと云ふことが出来る。

發行 大阪府東淀川區長柄橋大前 振替東京三三三三番 甲文堂

厚生經濟學

發行 大阪府東淀川區長柄橋大前 振替東京三三三三番 甲文堂



指揮を見る

片山正直

この國を今迄に訪れた世界的音楽者... 指揮者としての一流... 片山正直

夫人の腕と上半身とは極めてなだらかに圓味を以て動く... 指揮者としての一流... 片山正直

ある。眞の音楽は樂譜以上のもの... 指揮者としての一流... 片山正直

必要でない限り、上半身は殆ど直立である... 指揮者としての一流... 片山正直

この國の現況では、未だ未だ極々初歩的な音楽教育上の知識... 指揮者としての一流... 片山正直

開いて居るのは五月蟻い事だ... 指揮者としての一流... 片山正直

此の友人が、指揮音楽一森、鍛冶屋の再演を唱へて居る... 指揮者としての一流... 片山正直

音楽は一定の思想を持たない... 指揮者としての一流... 片山正直

音楽・雑・感

萩原實

音楽は健康な發展の生活感情を... 萩原實

音楽は一定の思想を持たない... 萩原實

俳句漫筆

井上白文地

芭蕉が、自然を友とするといふ

さでそで二若き人達の子供

雪ふる日風のたりのアマー

さがある。それに調子を合せるか

「賭けられた者」の原案である

劇をその視野から見逃される

入り易い捷徑であるのみでなく

なければならなかつた。先生の實

けるに充分である。前此の作以外

奥太利の夏

赤羽豊治郎

だが今日の人間に、芭蕉ほどの

夏休が来るほどに下湖しかつた

ペエム・パワックの第一論文

その地方はツツハツといわれ

それからチロルの首都インス

ブルクに二泊したが、こは全く

夏の都だとの感を受けました

昔は獨逸と伊太利とを結ぶ要路

であつたので、ゲータがその伊太利

豊岡先生と僕達

木村 武

「賭けられた者」の原案である

劇をその視野から見逃される

入り易い捷徑であるのみでなく

なければならなかつた。先生の實

けるに充分である。前此の作以外

劇をその視野から見逃される

入り易い捷徑であるのみでなく

なければならなかつた。先生の實

けるに充分である。前此の作以外

大協今秋のレポトリに就いて

公濱活動の擴大に並行して

「賭けられた者」の原案である

劇をその視野から見逃される

入り易い捷徑であるのみでなく

なければならなかつた。先生の實

けるに充分である。前此の作以外

劇をその視野から見逃される

入り易い捷徑であるのみでなく

なければならなかつた。先生の實

けるに充分である。前此の作以外

社會政策の私見

宇治原勇造

社會政策の對象となるべきものは何か、それは先づ資本主義機構を前提とする社會問題の解決策である。

この意味からして社會政策の對象の大部分は經濟現象である、言ひ換へれば社會政策の具體なるものは其の大部分に於て經濟現象に對する救済への具體策であらねばならぬ。

従つて此の經濟問題に對して何等かの具體策を講ぜねばならぬと云ふ所に社會政策の主眼と云ふものが出来るのである。

では此の社會政策の對象なるものを現在の經濟現象の立場からどう云ふ風に見るべきものであるかと考へて見ると、そこに二つの異なる型の對象を見出すことが出来る。即ち一は工場型であり、一は農村型である。これを現象型に於て見るならば前者は大都市型であり後者は村落型である。

かくて我々は此の二大別を認識することに依つて今後展開すべき具體策なるものをたつきりし知ることが出来る、即ち大都市型(工場型)に於ける社會政策は如何にあらねばならぬか、村落型(農村型)に於ける具體策なるものは如何なるものであらねばならぬかとの論議を展開することが可能になつて来るのである。

ところで此のやうな自明の問題である事にも拘らず過去の社會學徒の一連は此の大都市型と村落型の差異性を認識することなく此の相異なる集團に對して個人主義的觀點下から展開するところの具體策を考へようとした。

だがそれは到底成功し得る問題ではなかつた、何となればそれは何の前提が既に型而上學的であり觀念的であるからである、所謂普遍的な個人と云ふものを中心にして社會政策を考へたので、その具體策も社會存在をなした具體策、抽象的觀念的な具體策になつてしまつた、言ひ換へれば過去の社會政策の中に於ける總ての具體策は講はば一様などでも通用し得る

有權を承認すると言ふ現代法律即ち資本主義的法律が確立することに依りて、個人と個人との所有權と云ふものがはつきり國家の保護の下に確立された事である。

以上二つの事由に依りて原始共同體の佛と言ふものは、はつきり村の中から解消されてしまつた譯である、従つて今の村と言ふものは政府の行政區劃上の單位を構成するものであつて、決して經濟上の單位を構成するものではないのである。

村は一つ一つの職種の團體として獨立の地位を構成してゐた。

それは決して今日のやうな地主が租税を納めると云ふ態度ではなく、即ち村全體の人々が税を納めるのであつて、其の責任者となるのが其の村の行政を司つて居る所長である。

だから無論何れか其の村へ多額の租税を課せられる様な時があらば税は納められないし、課税からは嚴しい請求が来るし、村人は對頭居るにゐかねて部落全體が其の部落の生活に於ては、従つて村全體が經濟上の單位でもあれば宗教上の單位でもあり又政治上の單位でもあつた。

原始共同體時代に於ては今日言ふ所の資本主義下に展開されて居る社會政策と言ふ現象の發生する餘地はなかつたのである。詳言すれば原始共同體の型に於ては村は一つの生活單位であつた、従つて村全體が經濟上の單位でもあれば宗教上の單位でもあり又政治上の單位でもあつた。

期様な時代に於ては社會政策の客體となるべき何物も生じなかつたのである、然るに現在に至ると異なり、村の中には貧乏、所謂喰ひ得ざる人間と言ふものが多い。

ではかかる現象形態が展開して居ると言ふことは何故であるか、その理由に二つあると思ふ。

一、歴史的過程に於て、第一は原始共同體が第二次的な分解作用を起して村の經濟單位と云ふものが何時の間にか戸を基礎とした經濟單位に分れて来たといふ事である。

(注)從來原始共同體時代の民族は恒久的な生活をして居た、半農半牧の生活を續けて居たのであるが、人口の増加及び其の他の事由に依りて農業を基礎とした産業として、永久的な定住生活をなす様になつたので、その結果生産の手段たる土地の重要性が増して来た土地の所有が戸々に分解される様になつた。

二、次にこれに拍車をかけたのが西洋文明の影響の下に個人的所有權を承認すると言ふ現代法律が確立することである、即ち資本主義的法律が確立することである。

かくて個人と個人との所有權に於ては、富を得るものは飽きも飽きもせず、其の反面に喰ひ得ざる村人の存在と言ふ現象形態が現れて来た。

従つてこの現象は過去の社會政策の對象に於ては、決して理解されるべきであつて、現在あるが儘の資本主義經濟の觀點下になつて我々が之を理解するならば、貧乏現象發生の責任は現代社會が負はなければならぬと云ふ結論に到達するであらう。

對策が生じて来るそしてそれが大都市型と稱せられるべき政策の第二の對象であること認識すること出来るのである。

茲に於て考へねばならぬ問題は、個人主義的な型に於ては貧乏と云ふ現象形態は富の個人に責任を負はされてゐるのだが、此の考へ方は前資本主義的な型に於て理解されるべきであつて、現在あるが儘の資本主義經濟の觀點下になつて我々が之を理解するならば、貧乏現象發生の責任は現代社會が負はなければならぬと云ふ結論に到達するであらう。

だから大都市及村落それぞれ自身が社會政策の對象となる云ふことは現代社會政策の觀點下には如何なる事でもなすべからぬ。

此の點に於て所謂資本主義的イデオロギイと喰ひ得ざる労働者と

人間性の問題

藤井博

生活の煩はしさが、人間の心をひたひたに現實へと追ひ込んで、若し人々に浪漫的な若しさが全然枯乾して来た此の頃の世相を私に、つくづく情けないと思ふ。それだけ人間が小利巧になつたとは一面に言ひ得るであらう。然しなから現實資本主義制度にその最も深刻な影響を蒙る人間性の社會的經濟生活の極端なる複雑性が今日の時代を生かすかよとする若い人々から、幾世紀もの問の時代々々の若い人々に依つてあだかも彼等自身の體格の如く、思惟され抱き纏はれて来た「人間性」を、根柢から奪ひ去つたその世紀の暗さなるものが第一に問題とされねばならぬと思ふ。もつともかかる社會制度に私達はその根柢的な改革を要求する迄には更に相當の論議の餘地が存する事は云ふまでもなく、従つて、其の間に、獨斷を執るべき事もある。然し、獨斷を執るべき事もある。然し、獨斷を執るべき事もある。然し、獨斷を執るべき事もある。

また私は、それ等の最も具體的な例は萬葉の歌人の歌の中に於いてはなかりと思ふ。もつともこの特記せねばならぬ事は萬葉の時代に於ける歌人なるものが決つて限られた一部の専門家を指すものでない事である。上代の日本民族の殆ど凡ては偉大な歌人であり、同時に類稀な詩人でもあつた。誠に世界に於ける國の文化史をひもといてもかかる豊かな愛情を抱いた文化の色彩の濃厚なる民族は、他國にその例を求めざる事はない。然るに私達がひるがへつて来た、現實社會の情勢に注視の體を向けるならば、個人主義の極端なる現資本主義下に於ける複雑なる經濟機構のルツボに投込まれ、その車輪に押しひかれ、極度に歪曲された人間性のみじめさを、まさしく見せつけられねばならぬのだ。古代大和民族のあの典雅さは、生一本な愛情は、一體どこへ去つたのかと、私達は唯々その餘りにもめまぐるしい變遷に對する眼をみはるのである。

君ならど何自身にそはむなる青楊の小櫛も取らむと思はず我が背子はもな思ひ事し

火にも水にも我なけなく。

秋の田の穂の上にとさらば朝霞何處邊の方に我が戀やまむ。

之等の歌に鑑みれば火の様なパッションとその純粋な愛情を通じて私達は確かな人間性の眞實を、日本の女の性情として信じて来たのである。然るに現存するが如き第三期資本主義下に於ける混迷せる社會的現實に於ては私達は現代の女性中一人たりともか確固たる信念をもつたものも存在する事を認め得ない様な状態なのである。世は推して人間の生き方もその時代に應じて生活態度の極度の變遷に突ひされた人は云ふかも知れない生活の爲めと謂ふ義理の爲めと云ふ、果して然るか、やめよ、愛ひを慈しみ、樂みを嘗ぶ、人間の愛情は、網體的に不變恒常のものではないか、數的時間の永遠に比して私達の生活は須臾である、斯く須臾なる人生に於て次代次へと引續き推移して行く人間性を通じて、

(愛)こそ永遠に最も近く位し得ると私は信じて居るのである。私達は先ず現代を生かざる人々に、特に最も功利主義的な若き男女に對して人間性に於ける愛情をもつて、氷に生かすよと叱咤する、獨善的自利的なる獨善的現實を棄てて人間性を永久に近く接續せしめよと絶叫する。資本主義的社會制度

ヤングマン 服装専門

若人よ

新しい服装はドウゾ

若人のみの好ましいスタイル

文句たれのお客様

カワイのオッサンが待つてゐる

河合洋服店

本日橋一丁目交又

電話南三三八一番

交換會の交換 十年保證

古典趣味 實用本位

中古 Camera

高割一割受買 高割一割受買

新通俗寫真術 價目表

夜八時迄營業 日曜祭日休業

河原黨專機店

大阪市東區堺筋瓦町電停前

電話 781910

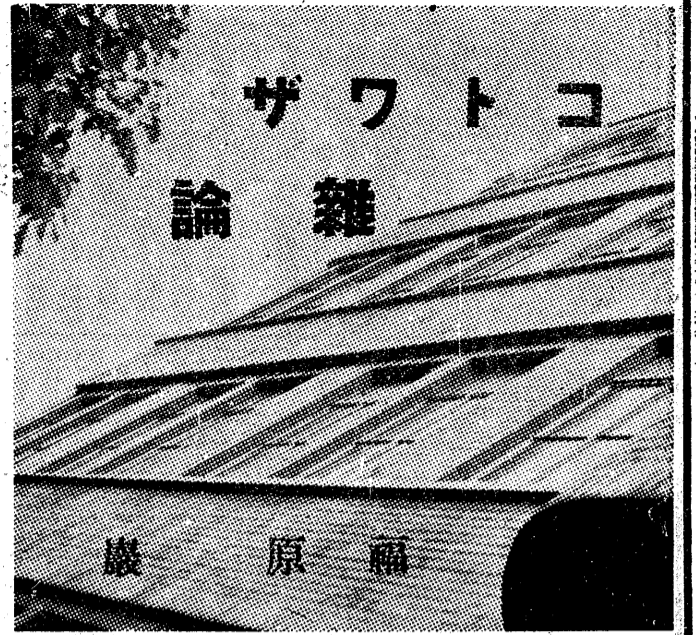
トニリプ 店門專

堂西關

二十ノ二通中柄長區川淀東市阪大

(前門正學大西關)

番七七一二川堀話電



藤原 巖
ザワトコ
論 雜
を論じたもの、最も深山見受けらるるの、宜なるかなで、かしましからざる男の吾々も亦心を止めねばなるまい次に面白いのは心は二つ身は一つ

藤原 巖
ザワトコ
論 雜
民の中に存在し吾々の最も親しみ易い道徳規範として日常観察に用ひられる。國學者本居宣長は古事記に於てこの語彙に就て次の様に述べて居る。

藤原 巖
ザワトコ
論 雜
を論じたもの、最も深山見受けらるるの、宜なるかなで、かしましからざる男の吾々も亦心を止めねばなるまい次に面白いのは心は二つ身は一つ

Original Manuscript Collection (原稿募集)
余りに貧困せる關大文化の現状を慮る時、吾人うたゝ寂寥の感に堪えず、こゝに於て敢然立つを餘儀なくされた我が新聞部は、遠き夢とは云へ、關大文化建設を目標に、文化的雰囲気をつくるべく、「學藝賞」なるものを制定し、左記に依り眞摯なる學生諸君の「論文」「創作」を募集す。

海・山・緑・に・陰・に
爽 颯 / 三省堂 夏期讀書の堂
日本水泳讀本 齋藤 蕪洋 著 定價一圓八十錢
上越の山 日本登高會編 定價二圓五十錢
夏休の獨逸語 三省堂編 初級用 五十錢
未見への出發 内務省社會局 安藤 得也 著 定價一圓